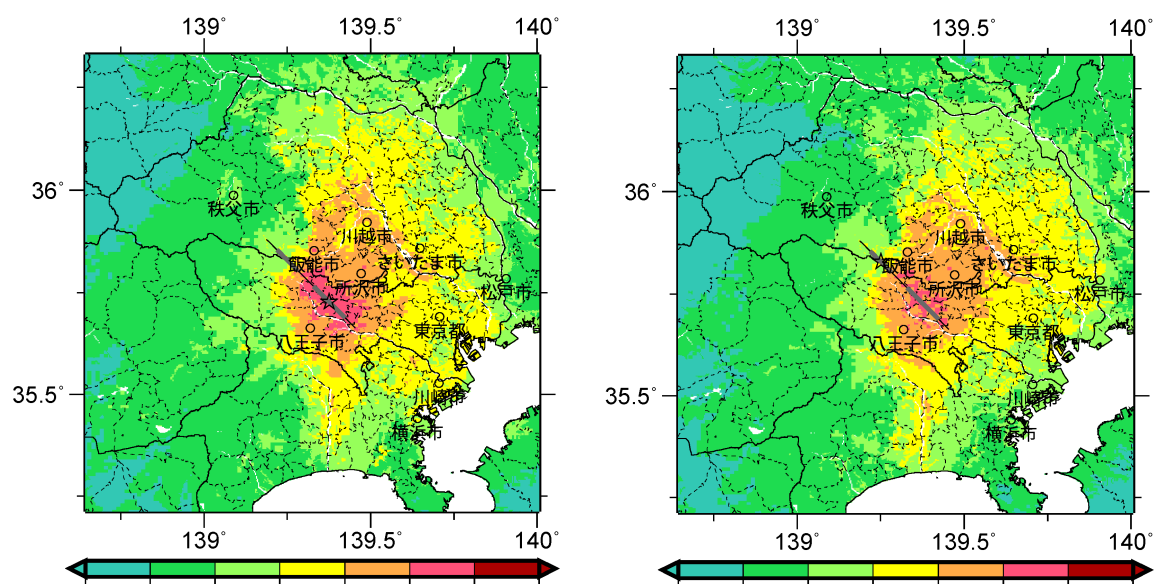


全国地震動予測地図 別冊 2

震源断層を特定した地震動予測地図



平成 21 年 (2009 年) 7 月

地震調査研究推進本部地震調査委員会

本書について

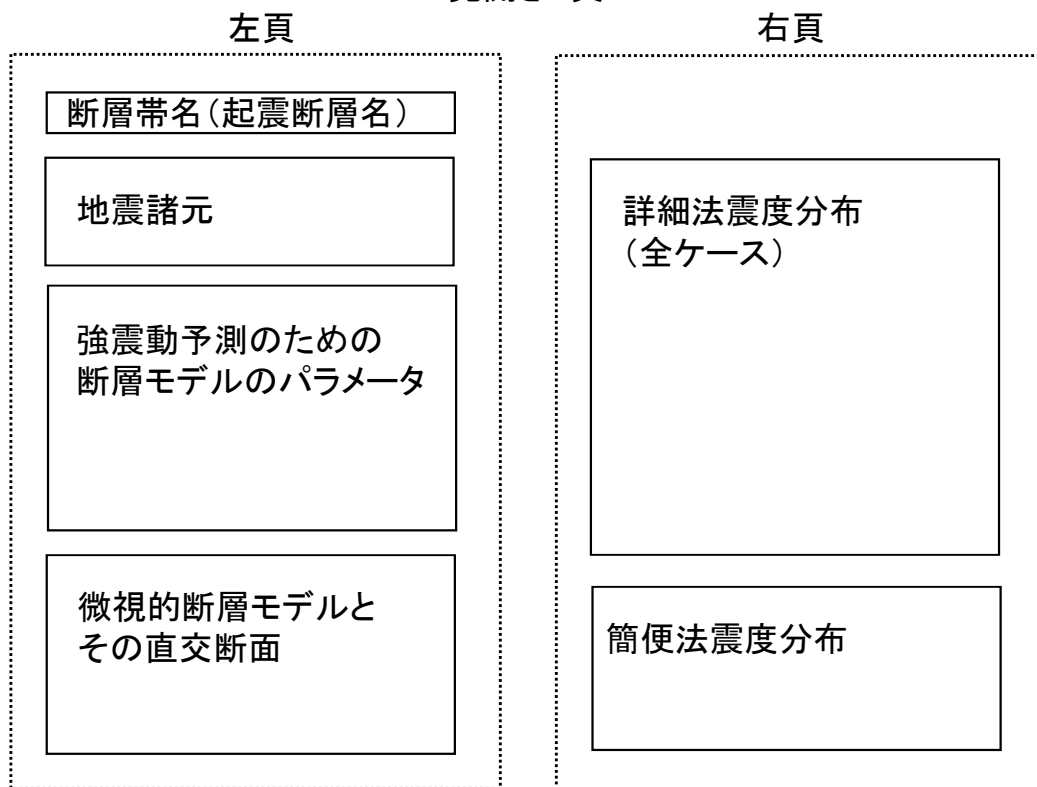
本書は、身近な活断層や海溝型地震ごとに「震源断層を特定した地震の地震動予測地図」を見ていただくために用意されたものです。見開き2頁毎に、各活断層の強震動予測のための断層モデルのパラメータやモデル図と、震度分布の地図をまとめてあります。各見開き2頁の内容は、次のようになっています。

- ・断層帯名(起震断層名)
- ・地震諸元(確率論的地震動予測地図に使用している巨視的パラメータ)
- ・強震動予測のための断層モデルのパラメータ
- ・微視的断層モデル図とその直交断面
- ・詳細法震度分布(全ケース)
- ・簡便法震度分布

ただし、詳細法の計算を行っていない活断層については、簡便法の結果と併せて1頁にまとめてあります。海溝型地震および日本海東縁部の地震については、矩形の断層面でないものもあり、パラメータを表にまとめることが難しいため、簡便法の計算に必要な断層面の配置(地表投影図)とマグニチュードのみを表に掲載し、震度分布図はいくつかの地震をまとめて掲載しています。地図中の都市名は、断層の端部から水平距離およそ50kmの範囲内で、断層との位置関係や人口を参考にして選んだ10都市を示しています。

主要活断層帯の断層モデルのパラメータ、微視的断層モデル図、ケースは、全国一律に手続き化された「震源断層を特定した地震の強震動予測手法(「レシピ」)」と、次ページに示す断層モデル作成の基本方針に従って設定されたものです。

見開き2頁



※ 本書に掲載した地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000(空間データ基盤)及び基盤地図情報を使用した。(承認番号 平20業使、第638号)

※ 日本領土のうち、南鳥島と沖ノ鳥島では、計算に必要な基データが整備されていないため、地図を作成していない。

※ 本書では、日本測地系を使用している。